

# Book Review



## 新編 すぐわかるカード式 歯科治療に必須の 全身リスク診断と対応 カードダウンロードサービス付

依田哲也 監修/佐藤 毅 編著

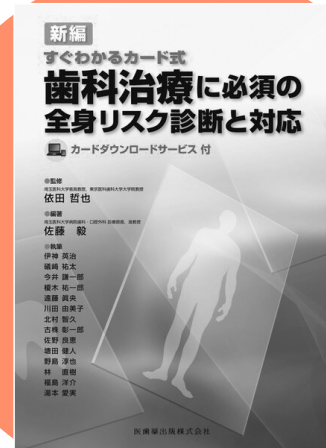


Reviewer

茂木世紀 Seiki Mogi

(埼玉県・もぎデンタルクリニック)

A4判、168頁  
カラー  
定価(本体9,000円+税)  
医歯薬出版刊



現在、4人に1人が65歳以上という超高齢化社会を迎えています。10~20年前と比較すると現在の70代、80代は若々しい方も増え、生活様式も活動的であり、口腔内も残存歯数が増えています。歯科医院を受診する年齢層も約半数以上が60歳以上と言われ、歯科医療を安全かつ適切に行う重要性は高まっています。さらに医療が日々進歩し、新たな治療法や薬剤が使用されるようになり、さまざまな疾患を有する患者への口腔機能の管理、維持および医科歯科連携がさらに必要になってきました。

『新編 すぐわかるカード式歯科治療に必須の全身リスク診断と対応』は、今年3月に、より超高齢社会に対応できるよう新版になりました。また初版以来好評であったカード式を継承しつつ、最近では多くの歯科診療室でX線、口腔内写真等の患者説明に使用される「モバイル端末」にも対応できるよう、ダウンロードしてPDFを使用できるようになり、あらゆる年齢層の

先生や診療スタイルに適應し、チェアサイドでの利便性は向上しました。

安全に歯科治療を行うため、医科での治療等に関する情報提供依頼、すなわち歯科医から内科担当医などに高血圧、不整脈などの循環器疾患や、糖尿病などの代謝疾患などの治療(コントロール状況、投薬内容)や歯科治療についての問題点の有無を確認しておく必要があります。近年の保険診療改定に伴い診療情報提携共有料(情共)120点が新設されました。現在の内科疾患等における検査結果、投薬内容等を直接紹介状により対診しやすくなり、ある程度のコントロール状況を正確に判断し安全に歯科治療を進めやすくなりつつあります。

内科医のように毎日内科疾患を治療しているならともかく、多くの歯科医は血圧やある程度の血液検査の正常値は理解していても全部を正確に把握することは困難です。そこで本書のようにカードやPCなどで手軽に確認でき、また患者さんと一緒に情報を共有でき

るというスタンスは大変重要です。

重大な疾患や精神的疾患を抱えている患者さんのなかには歯科とは関係ないと判断し、お話にならない方もいるかもしれません。本書は薬剤名が明記されており、知りたい疾患を辿ることや、薬の増量や変更により病態の把握も可能となります。病態の要因、診断治療、投薬、歯科治療に対する注意点やポイントが診療室ですぐに確認できることは治療指針に必要不可欠です。

患者さんと情報を共有することで、さらに信頼関係を築き、安心感を与えることができます。主訴の歯科疾患以外の内科的疾患や治療に対するポイントを押さえ、歯科医師の診療の引き出しを本書は与えてくれます。

医科歯科連携、具体的な疾患に対する内科治療、投薬内容、歯科診療に対する注意点を新しい知見とともにわかりやすく記載されており、日々の歯科臨床に携わる多くの歯科医にもっていただくべき書だと感じており、ぜひ本書をご活用いただきたいと思います。